



湖西市鷺津にある本興寺は、歌人の北原白秋が心惹かれたことで有名なお寺です。1383年(永徳3年)開山と伝わる当寺には、見事なかやぶき屋根が印象的な本堂をはじめ、歴史的に貴重な文物が数多くあります。写真の本堂は、天笠・唐・和三様式の建造物で、室町期の遺構をとどめる国の重要文化財。周囲の木立と相まって、日常を忘れさせてくれる静かでゆったりとした時間が流れています。本堂手前の大書院には江戸時代後期の画家、谷文晁が描いた「四季山水図」の、迫力ある壁画や襖絵も必見です。大書院から奥書院に面したところには、遠州流庭園が広がり、その閑静なたたずまいは、北原白秋に「水の音 ただに「つぞ 聞こえける その外は何も 申すことなし」と詠まれています。静寂な中にも歴史や文学の香り漂う本興寺で、心穏やかなひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

本興寺